

表彰台目前で、無念のガス欠ストップ。

#10 GAINER TANAX triple a GT-R

Ryuichiro TOMITA/Hiroki YOSHIDA



予選:8位 決勝:18位

入場者数/予選日:26.376人・決勝日:42.257人

TANAX

triple a

WORK

DUNLOP

WAKOS

KTI

LIGHT AUTO 1

TONE

GRAN VALLEY

PENALTY

PIAA

ODYSSEY

WPC

Fireflex

monocolle

DRUG STORE Live

ÖHLINS

Kinross
PERFORMANCE PRODUCTS

OP
Printer
Free Rental

emio

TAKATA GT-R Magazine

R35 GT CLUB
for NISSAN GT-R(R35) Owners

10月7日(土曜日)

公式練習	10:00～11:35	天候:晴/コース状況:ドライ	Pos.17
ノックアウト予選 1回目	15:00～15:15	天候:曇/コース状況:ウエット/ドライ	Pos.8
ノックアウト予選 2回目	15:45～15:57	天候:曇/コース状況:ウエット/ドライ	Pos.8

SUPER GT唯一の海外戦が行われる、タイ、プリアムにあるチャーンインターナショナルサーキット。今年で4年目を向かえる。

昨年も雨期の後半の時期に行われていたが、毎年スコールなどに見舞われることもなく開催されていた。

しかし今年はかなり不安定な気候の中、予選、決勝共に、ウエットタイヤを履くことになった。

公式練習前に行われた、前座レースの予選時に、今までチャーンインターナショナルでは経験したことのない程の雨が降りしきる。

スコールのあとは、晴れ渡り、徐々に路面は乾いていく方向へ。

スタートは、富田 竜一郎。ウエット宣言も出され、ウエットタイヤを装着し、ピットを離れていく。OUT-INでマシンチェック。10時20分に吉田広樹と交代。吉田は違うマシンでの走行の経験はあるが、GT-Rで、このサーキットは初めてで、まずは慣れることから。心配することはないようで、ドライ路面になったあたりから、再び富田へ。富田は昨年よりマシンのバランスは良いと話す。しかし、勝つためには、もっとセットを詰めていかないといけない。足回りを調整し、吉田へ。300クラスの占有時間に富田がドライブし、このセッションは終了した。



Q1を担当するのは富田。予選前にも、午前中のようなスコールが降り、路面を濡らし、今回はなかなか乾かない。ウエットタイヤでスタートし、計測2周目に1分41秒790で、暫定6番手。路面状況が刻一刻と変わり、3周目にピットへ入り、ウエットのNewタイヤを履き、再びタイムアタックを開始する。計測1周目に、1分40秒698のタイムで暫定3番手。最終的には、9番手でQ2に進んだ。(後に四輪脱輪車があり8番手)
Q2担当は吉田。スタート前にまた雨が降り、路面を濡らす。ウエットタイヤでスタートし、スタビも調整し、吉田がアタックに入る。計測2周目に、1分41秒067のタイムを記録。Q1と同じく、3周目にタイヤを交換するためにピットへ。残り4分でアタック。計測1周目で、1分40秒013。これ以上は更新叶わず、8番手で明日の決勝はスタートすることが決まった。



富田 竜一郎ドライバーコメント

予選が終了し、Q1、Q2共に8番手で、まずまずの予選を終える事ができました。ちょっとあのコンディショ的に、厳しい予選で、タイヤの選択と、Q1Q2と、もう少しうまくやれたのではないかと考えております。

そんな中でも、この順位は悪くないと考えております。ここ2年、非常に相性の良いコースでもあるので、明日の決勝は、吉田選手とチームの力を合わせて、今期まだ取れていない表彰台を、獲りにいきたいと考えております。

吉田 広樹ドライバーコメント

朝から雨が降ったり、ドライ路面になったりと、非常に難しいコンディションでスタートしたのですが、ドライもGT-Rで走るのが初めてだったので。走り始めから何となく、ポイントも掴めてきて、少しずつ改善点が見えてきていました。予選前の雨で、さらにウエットか、ドライタイヤなのかと悩む路面状況で、1周でタイムを出さなければならなかったのですが、うまくまとめきれなかったことが、今後の課題になりました。タイヤの良いところでしっかりと、全周まとめてベストラップが出せるように、今後はキチンとやっていきたいと考えております。レースはコンディションにもよりますが、今日はドライもウエットも走っているので、そういう意味では明日に向けて、良い出だしになったと思ってます。



10月8日(日曜日)

決勝RACE

15:00～

天候:雨～晴/コース状況:ウエットドライ

Pos.18

決勝日の午前中は快晴に恵まれたが、決勝スタート30分前のスコールにより、コースはウエットとなった。ほぼ全車ウエットタイヤを装着していたが、6台ほどはスリックタイヤをチョイスしていたマシンも。10号車はウエットタイヤでスタートをする。

スタートドライバーは、吉田。日本の国歌、タイの国歌と、ラーマ9世を忍んで黙祷を捧げたのち、フォーメーションラップが開始された。

コンディションを考慮して、セーフティカーによるスタートとなり、2周を走り終えたところで決勝レースがスタートした。



吉田はスリックを履くマシンをパスし、1周目に7番手に。しかし、ペースの速いNo.65AMGに煽られ、6周目にポジションを明け渡す。8周目には、スリックタイヤを選択したマシンが、ほぼ周回遅れになっていたが、徐々に路面も乾き始め、10周目にドライタイヤと交換するためにピットへ。

作業後は、一旦18番手までポジションを下げるが、1分35秒台で周回を重ね、30周目にルーティーンのピットを行うときには、3番手までポジションをあげて、富田にハンドルを託す。

富田のペースも悪くなく、37周目に8番手、40周目には、7番手、53周目には5番手まで上がり、34秒台を連発。トップを快走する、No.51RCFと同じくらいのペースで走行していた。しかし、ここに来て燃料のアラームが点灯。チェッカーを受けてから、ガス欠になる計算で、ピット方も大丈夫だと無線を入れる。しかし、ペースをキープしながらの走行になったため、これ以上の追従が出来ず、周回を重ねるが、無情にもチェッカーまで、残り1周半のところでマシンはストップ。

チェッカーを受けることが出来ず、18番手で走行を終えた。

全てにおいて、攻めた結果だったが、最終戦は必ず表彰台に乗るために、今一度ドライバー、スタッフ共に協力して臨みます。



富田 竜一郎ドライバーコメント

今回、鈴鹿でのいいイメージをもってタイにやって来ましたが、走り出しから予選、ウォームアップと非常に雰囲気がよく、上位でのフィニッシュが望めるパフォーマンスを発揮していました。

迎えた決勝でも、スタート前にスコールの降る難しいコンディションのなかでも、ダンロップさんのタイヤとマシンがうまくかみあい、表彰台を強くイメージしました。

それだけに、ガス欠でのストップは非常に残念です。

今季はなかなか結果が出せずにはありますが、次戦もてぎでもまた上位目指して頑張りますので応援宜しくお願い致します。

吉田 広樹ドライバーコメント

スタート前に降りだしたスコールの影響で、とても難しくタフなレースになりました。今回もスタートドライバーを担当することになったのですが、各チーム使用するタイヤメーカーや種類が違うことから、ポジションをあげようとプッシュしたのですが、思うように周回することが出来ませんでした。

けれども、チームの的確な状況判断のお陰で早めにドライタイヤに変更したことが功を奏し、見えないライバルとのポジション争いも優位に立つことが出来ました。

ピット作業は2回とも完璧で、富田くんも良いペースで3位争いに絡んでいたのですが、残り2周をきった時点でのガス欠のためチェッカーを受けることが出来ませんでした。

今シーズンで一番表彰台に近いレースだったので悔しい気持ちもありますが、チームみんなで攻めた結果です！！

この経験を活かし、最終戦こそ今期ベストなレースが出来るように頑張りたいと思います。

田中 哲也総監督コメント

タイのレースで初めて雨が降りまして、フリー走行はドライ、予選は雨が降り、ウェット宣言が出ました。タイミングとコンディションに対して合わず、そんな難しいコンディションの中でも、Q1を突破してくれました。

決勝は、タイヤ交換のタイミング、ピット作業など全てにおいて、完璧にこなしてましたが、ラスト1周でガソリンが足らなくなり、チェッカーを受けることが出来ませんでした。ドライバーもエンジニアも攻めた結果なので、それに関しては満足しています。



Driver Ranking GT300

Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	4	谷口 信輝 片岡 龍也	20	1	6	8	15	0	15		65	—	
2	51	中山 雄一 坪井 翔	3	20	5	0	2	6	20		56	-9	
3	65	黒澤 治樹 蒲生 尚弥	16	6	1	4	0	25	0		52	-13	
4	55	高木 真一 Sean Walkinshaw	6	0	11	0	21	0	8		46	-19	
5	25	松井 孝允 山下 健太	8	0	21	12	0	1	0		42	-23	
6	11	平中 克幸 Bjorn Wirdheim	0	15	0	20	0	3	3		41	-24	
7	33	藤井 誠暢	2	11	4	0	3	2	11		33	-32	
8	61	井口 卓人 山内 英輝	0	0	15	2	8	5	0		30	-35	
9	88	織戸 学 平峰 一貴	0	0	0	0	4	18	6		28	-37	
10	33	Sven Muller	2	11	—	—	—	2	11		26	-39	
11	60	飯田 章 吉本 大樹	0	3	0	6	0	10	5		24	-41	
12	9	Jono Lester 峰尾 恭輔	11	1	0	1	6	4	0		23	-29	
13	87	細川 慎弥 佐藤 公哉 元嶋 祐弥	0	8	0	0	0	13	0		21	-31	
14	7	Jorg Muller 荒 聖治	0	4	8	0	5	0	1		18	-34	
15	31	嵯峨 宏紀 久保 凜太郎	1	0	0	5	11	0	0		17	-35	
16	3	星野 一樹 高星 明誠	4	5	2	3	0	0	2		16	-36	
17	50	都筑 晶裕 新田 守男	0	-	0	15	0	0	0		15	-37	15
18	10	富田 竜一郎 吉田 広樹	5	0	0	0	0	8	0		13	-39	
19	18	中山 友貴 川端 伸太郎	0	2	0	0	0	0	4		6	-46	
20	33	Andre Couto	—	—	4	—	—	—	—		4	-61	
21	5	坂口 夏月 藤波 清斗	0	0	3	0	0	0	—		3	-62	3
22	21	Richard Lyons 柳田 真孝	0	0	0	0	1	0	1		2	-63	
23	25	近藤 翼	—	—	—	—	—	1	—		1	-64	
決勝順位			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
ポイント			20	15	11	8	6	5	4	3	2	1	

※予選ポールポジション: 1pt

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX

triple a

WORK

DUNLOP

WAKOS

LIGHT AUTO 1

TONE

KTI

DRUG STORE Live

GRAN VALLEY

PENALTY.

Firelex

monocolle

PIAA

ODYSSEY

METAL SURFACE TREATMENT

WPC

ÖHLINS

Kinetik

Laser Beam Printer Free Rental

Glink

TAKATA

R35 GT CLUB
for NISSAN GT-R(R35) Owners

GT-R Magazine

Team Ranking GT300

Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	
1	4	GOODSMILE RACING & TeamUKYO	23	3	9	11	18	1	18		83	-	
2	51	LM corsa	6	23	8	3	5	9	23		77	-6	
3	65	K2 R&D LEON RACING	18	9	4	7	3	28	3		72	-11	
4	11	GAINER	3	18	1	23	1	6	6		58	-25	
5	55	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	9	1	14	0	23	0	11		58	-25	
6	25	VivaC team TSUCHIYA	11	3	23	14	1	1	3		56	-27	
7	33	D'station Racing	5	14	7	3	6	5	14		54	-29	
8	61	R&D SPORT	0	3	18	5	11	8	0		45	-38	
9	88	JLOC	3	1	3	0	7	21	9		44	-39	
10	9	PACIFIC with GULF RACING	14	4	1	4	9	7	3		42	-41	
11	60	LM corsa	1	6	3	9	1	13	8		41	-42	
12	87	JLOC	3	11	1	1	3	16	3		38	-45	
13	7	BMW Team Studie	3	7	11	1	8	3	4		37	-46	
14	31	apr	4	3	0	8	14	0	3		32	-51	
15	3	NDDP RACING	7	8	5	6	0	1	5		32	-51	
16	10	GAINER	8	1	3	1	1	11	1		26	-57	
17	50	INGING&Arnage Racing	0	—	1	18	3	1	3		26	-57	
18	18	TEAM UPGARAGE with BANDO	3	5	0	1	3	1	7		20	-63	
19	5	TEAM MACH	3	1	6	3	1	1	-		15	-68	
20	21	Audi Team Hitotsuyama	3	3	3	1	4	0	1		15	-68	
21	30	apr	0	1	1	1	1	1	3		8	-75	
22	52	埼玉トヨタGreen Brave	0	1	1	3	1	3	1		10	-73	
23	360	TOMEI SPORTS	3	0	3	3	1	1	-		11	-72	
24	111	Rn-sports	3	1	1	0	3	1	-		9	-74	
25	26	Team TAISAN SARD	1	1	3	1	1	0	1		8	-75	
26	117	EIcars BENTLEY TTO	3	1	1	—	1	0	-		6	-77	
27	2	Cars Tokai Dream28	1	1	1	0	1	1	1		6	-77	
28	48	DIJON Racing	1	1	1	1	1	0	-		5	-78	
29	22	R'Qs MOTOR SPORTS	1	1	1	—	1	1	-		5	-78	
30	35	PANTHER TEAM THAILAND	1	0	0	0	1	1	1		4	-79	
決勝順位			1位	2位	3位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント			20	15	11	11	8	6	5	4	3	2	1
トップと同一周回			1 周遅れ				2 周遅れ以上で完走						
3			3				1						

※レース距離が700km以上の場合のポイント

1位:25pt、2位:18pt、3位:13pt、4位:10pt、5位:8pt、6位:6pt、7位:5pt、8位:4pt、9位:3pt、10位:2pt

TANIX

